

# 令和3年度 事業計画書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

特定非営利活動法人ま・わ・た

## 1 事業の運営方針

### 地域から信頼され、市民社会づくりの中心となる存在を目指して

本年度より福祉施設運営事業が加わることとなり、真岡市市民活動推進センター運営、フードバンク事業と共に、芳賀地域の市民活動団体をはじめとする多様な主体と連携・協働して事業を進める。

ボランティアや寄付を通じて、市民が社会課題の解決に参加できるより多くの機会を作り出すことで、よき市民社会の創造を目指す。また、会員をはじめ多くの方々とのかかわることを通して、たくさんの方々に当団体について理解をしていただき、共感の輪がより一層広がるよう努める。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①市民活動に関する情報の収集と提供に関わる事業	A.各種イベントにおける広報	未定	未定	会員 5名	一般市民	0
	(D.に内包)	-	-	-	-	-
②市民活動に関する相談、活動促進のための調整に関わる事業	(B.に内包)	-	-	-	-	-
	(D.に内包)	-	-	-	-	-
③市民活動における人材育成に関わる事業	(B.に内包)	-	-	-	-	-
	(C.に内包)	-	-	-	-	-
	(D.に内包)	-	-	-	-	-
④市民活動における多様な主体間の交流・連携の促進及び支援に関わる事業	B.講師派遣事業	未定	未定	役職員 1名	市民活動団体 ほか	0
	C.市民活動団体との共催事業	通年	真岡市内	役職員 1名	一般市民	0
	(D.に内包)	-	-	-	-	-
⑤市民活動に関する調査研究及び政策提言に関わる事業	(D.に内包)	-	-	-	-	-
⑥市民活動の拠点に関する施設管理運営事業	D.真岡市市民活動推進センターの管理運営	通年	市民活動推進センター	役職員 5名	一般市民、登録団体・個人 ほか	15,578
⑦高齢者・障がい児者・	(C.に内包)	-	-	-	-	-

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子どもの福祉向上に関する事業	E.フードバンクに関する事業	通年	真岡市内	会員 6名	一般市民	110
	(E.に内包)	-	-	-	-	-
⑧まち・むら活性化に関する事業	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	-
⑨文化・芸術・スポーツの振興に関する事業	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	-
⑩自然環境への理解及び環境保護の意識を高める事業	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	-
⑪災害発生時の救援及び被災地域の復興に資する事業	(A.に内包)	-	-	-	-	-
	(D.に内包)	-	-	-	-	-
⑫国際協力、国際交流事業	(E.に内包)	-	-	-	-	-
⑬男女がともに尊重し合う社会づくりに関する事業	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	-
⑭地域社会における学びの場づくりに関する事業	(D.に内包)	-	-	-	-	-
⑮障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービスならびに一般相談支援事業	F.福祉事業所運営事業	通年	真岡市内	役職員 6名	障がい児者、 一般市民	30,674
⑯その他この法人の目的を達成するために必要な事業	(A.に内包)	-	-	-	-	-

なお A.～E.については、以下の通りとなっている。

- A. 各種イベントにおける広報
- B. 講師派遣事業
- C. 市民活動団体との連携・共催事業
- D. 真岡市市民活動推進センターの管理運営
- E. フードバンクに関する事業
- F. 福祉事業所運営事業

## 2 事業の詳細

### A. 各種イベント等における広報事業

各種イベント等にて、多くの一般の方に当団体を知ってもらえるようチラシの作成、ブースへの出店などを通し、広報活動を行う。

### B. 講師派遣事業

地域からの要請により、当団体役職員を講師として講座を開催し、市民活動を理解・促進するための一助とすることを目的に実施する。

### C. 市民活動団体との連携・共催事業

市民に必要とされる団体を目指して、真岡市をはじめとする芳賀地域で活動する市民活動団体が実施する多様な事業に関わることで、多くの市民に市民活動の魅力に気づき、参加を促す契機とする。

- ・「真岡市図書館プロジェクト」（事業協力・参加）
- ・「はが路 100km 徒歩の旅」（学生の研修サポート） など

### D. 真岡市市民活動推進センターの管理運営

市民が行う自発的で営利を目的としない社会貢献のための活動を支援し、もって市民との協働のまちづくりを推進するセンター設置目的の下、前年度の成果と課題を踏まえたうえで、「地元の NPO らしさ」を前面に押し出した効率的、効果的なセンター運営を目指す。

市民が行う自発的で営利を目的としない社会貢献のための活動を支援し、もって市民との協働のまちづくりを推進するため、真岡市市民活動推進センターを設置する。

(真岡市市民活動推進センターの設置及び管理条例第 1 条)

#### 1. センターの利用等に関すること

- (1) 団体・個人登録（変更・廃止）申請受付
- (2) データベース作成・管理（内部用・HP 公開用）
- (3) 施設・機材・物品の貸出
- (4) ミーティングルームの貸出・管理
- (5) こらぼひろばの管理
- (6) ロッカー・メールボックスの貸出
- (7) 利用者アンケートの実施

## 2. 情報収集・提供

- (1) 広報誌・広報誌特別号・別刷り等の発行
- (2) ホームページの更新（データベースを除く）
- (3) ブログ「センター日記」の更新
- (4) 団体・個人への取材
- (5) 各種情報収集と提供（助成金、イベント等）
- (6) 企業 CSR 情報の収集
- (7) もおかインフォ対応

## 3. 相談等への対応

- (1) 各種相談対応、ボランティアコーディネート
- (2) NPO 法人の設立・運営支援
- (3) 相談事項経過書の取りまとめ

## 4. 研修会、講座の実施

- (1) 一般市民向け事業
  - こらぼ茶話
  - 花火大会クリーンボランティア
  - 協働理解推進講座
  - ボランティア体験事業
- (2) 利用者や市民活動団体向け事業
  - コラボまつり
  - スキルアップ講座
  - ボランティアコーディネート講座
- (3) 市民活動に関する普及・研究事業
  - 広報誌「コラボ！」
  - ウェブサイトの再構築
  - 視察研修
  - 調査活動
- (4) その他  
相談などにより持ち寄られた内容に対応する（共催講座等）。

## 5. 交流促進のための事業

- (1) こらぼ de ランチ
- (2) こらぼ～年会（利用者協議会事業）
- (3) ふれあいフェスティバル（利用者協議会事業）

## 6. 関係機関との協力・連携に関すること

- (1) 各種会議・研修に関すること（内部研修を含む）
- (2) 真岡市災害ボランティア支援委員会
- (3) 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会 評議員
- (4) 中間支援センターネットワーク推進会議
- (5) とちぎコミュニティ基金

## 7. センター内庶務

- (1) 図書・DVD ソフトの整理
- (2) 各種文書・ちらし受付
- (3) 日報集計
- (4) 各種会計支払事務
- (5) 物品購入・管理
- (6) 施設内の環境美化に関すること
- (7) 施設内の防犯・防災対策に関すること
- (8) 給与・労務管理
- (9) 勤務シフト管理

## E. フードバンクに関する事業

真岡市内におけるフードバンク事業を進め、地域に広めるとともに、物資を必要とする人たちへ運ばれる仕組みを作り上げていく。昨年に引き続き、「NPO 法人フードバンクうつのみや」や「認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク」と共に事業を進めていく。同様に真岡市社会福祉協議会や市社会福祉課とも情報交換などを行い、連携を取りながら活動を進める。また併せて、地域食堂に関する調査研究なども行い、フードバンクの食品を利用できる場の創出も検討していく。

また事前に支援をいただける方に登録してもらい、支援を必要とする方へお届けする「フードバンク個人」の協力呼びかけを進める。

- (1)フードバンク事業の推進
- (2)フードドライブ事業の実施と推進
- (3)地域食堂の調査・研究                      など

## F. 福祉事業所運営事業

真岡市田町にある「そらまめ食堂」は益子町の「NPO 法人手仕事工房そら」が運営する就業支援B型の作業所であった。しかし、「そらまめ食堂」の今後の事業拡大に伴い、事業所の所在地等で課題が生じ、事業分離することとなった。しかしながら、同作業所だけでは組織として運営するための基盤が弱く、急な展開であったため準備を行うこともできなかった。そこで、当法人で事業を継承することで、同作業所の継続へ協力することとした。

なお、今後、中長期的計画を策定し、同作業所の法人化なども視野に入れた事業運営を行っていく予定である。

- (1)多機能型事業所そらまめ（就労継続支援B型・生活介護）の運営      など